



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 アジア・アライアンス・ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9318 URL <http://www.aah.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 船戸 義徳

問合せ先責任者 (役職名) 総合企画室

(氏名) 天神 雄一郎

TEL 03-5447-5350

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	1,310	29.0	△385	—	△417	—	△43	—
25年3月期第2四半期	1,015	△57.7	△358	—	△338	—	△398	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 4百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △413百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△0.18	—
25年3月期第2四半期	△2.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
26年3月期第2四半期	2,307	7.92	1,865	7.92	80.8	7.92	7.92	
25年3月期	2,605	7.71	1,794	7.71	68.0	7.71	7.71	

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,863百万円 25年3月期 1,770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社グループが行う投資事業は、その特性上、国内外の経済情勢、株式市場動向等から受ける影響が極めて大きく、業績予想を合理的に行うことが困難であるため、業績予想の開示を控えさせて頂いております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	235,201,529 株	25年3月期	229,701,529 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	15,909 株	25年3月期	15,909 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	234,399,906 株	25年3月期2Q	196,702,363 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、弊社監査法人が四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループが行う投資事業は、その特性上、国内外の経済情勢、株式市場動向等から受ける影響が極めて大きく、業績予想を合理的に行うことが困難であるため、業績予想の開示を控えさせて頂いております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、我が国経済は、円安株高や金融緩和などを背景として緩やかに景気は回復してまいりました。

このような状況のもとで、当社グループは昨年度に引き続き①財務体質の健全化、②収益事業の確立、③専門性の高い人材の確保を中心とした組織再構築を進め、経営資源を投資業に集中させる事により新たな収益事業の確立に向け邁進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、株式会社六合の工事売上高が回復したことにより、売上高が1,310百万円（前年同期比29.0%増）となり、前年同期と比較して増収となりました。損益につきましては、株式会社六合の売上高若干の増加とデザイン株式会社の不動産関連収入の増加に係らず営業損失が385百万円（前年同期比7.5%増）、経常損失は417百万円（前年同期比23.3%増）となりました。また、四半期純損失は43百万円（前年同期比89.2%減）となりました。

売上高の主な内訳は、株式会社六合の工事売上高1,057百万円とデザイン株式会社の不動産関連収入231百万円です。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ297百万円（11.4%）減少し、2,307百万円となりました。

主な増減は、株式会社六合における完成工事未収入金の減少169百万円、デザイン株式会社における販売用不動産の減少162百万円、仕掛販売用不動産の増加107百万円、当社における投資不動産の増加143百万円等です。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ368百万円（45.5%）減少し、441百万円となりました。

主な増減は、株式会社サテライト朝日における長期末払金の減少200百万円、未払金の減少202百万円等です。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ70百万円（3.9%）増加し、1,865百万円となりました。

主な増減は、新株予約権の行使に伴う資本金及び資本剰余金の増加82百万円、その他有価証券評価差額金の増加6百万円、為替換算調整勘定の増加47百万円、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少43百万円等です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループが行う投資事業は、その特性上、国内外の経済情勢、株式市場動向等から受ける影響が極めて大きく、業績予想を合理的に行うことが困難であるため、業績予想の開示を控えさせて頂いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、株式会社サテライト朝日は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前7連結会計年度連続して経常損失および当期純損失を計上しており、当第2四半期連結累計期間も同様の状況であることから、継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる状況が存在していません。

このような状況に対し、当社は、単年度黒字化を早期に実現すべく、アジア・大洋州地域への積極的な投資活動や、連結子会社の収益力強化により、連結業績の回復を図ってまいります。

また、資金面では、平成24年2月に実施した第三者割当増資およびその後の第8回・第9回新株予約権行使により合計約20億円の資金調達を行った結果、平成25年9月末現在の連結ベースの現預金残高は約10億円となり、今後見込まれる第9回新株予約権の行使による資金調達と合わせると、平成26年3月末までに見込まれる運転資金および投資資金の需要には十分対処可能な現預金を保有しております。

したがって、当社は、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,248,251	1,043,181
受取手形及び売掛金	31,781	2,166
完成工事未収入金	332,215	163,024
商品	—	9,492
販売用不動産	386,560	224,336
仕掛販売用不動産	—	107,313
未成工事支出金	14,895	4,238
預け金	60,380	60,807
繰延税金資産	5,079	4,205
その他	33,229	15,315
流動資産合計	2,112,392	1,634,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	406	1,800
その他（純額）	2,891	8,750
有形固定資産合計	3,297	10,551
無形固定資産		
のれん	62,241	59,201
その他	72	57
無形固定資産合計	62,314	59,258
投資その他の資産		
投資有価証券	400,926	421,863
投資不動産	—	143,970
破産更生債権等	122,691	122,691
その他	26,467	37,848
貸倒引当金	△122,691	△122,691
投資その他の資産合計	427,394	603,682
固定資産合計	493,006	673,491
資産合計	2,605,398	2,307,573

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	189,601	221,909
未成工事受入金	45,774	74,735
未払金	213,576	11,058
未払法人税等	11,611	13,778
賞与引当金	12,868	13,062
完成工事補償引当金	1,244	510
工事損失引当金	10,000	21,500
その他	20,165	20,130
流動負債合計	504,841	376,685
固定負債		
退職給付引当金	34,319	33,905
役員退職慰労引当金	53,750	10,625
長期未払金	200,995	—
繰延税金負債	16,526	20,503
固定負債合計	305,590	65,033
負債合計	810,432	441,718
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,270,611	2,311,861
資本剰余金	490,375	531,625
利益剰余金	△1,081,586	△1,124,728
自己株式	△5,954	△5,954
株主資本合計	1,673,445	1,712,804
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,950	33,435
為替換算調整勘定	69,994	117,384
その他の包括利益累計額合計	96,944	150,819
新株予約権	2,296	2,230
少数株主持分	22,279	—
純資産合計	1,794,966	1,865,854
負債純資産合計	2,605,398	2,307,573

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	1,015,468	1,310,377
売上原価	904,111	1,197,559
売上総利益	111,356	112,818
販売費及び一般管理費	470,140	498,388
営業損失(△)	△358,784	△385,570
営業外収益		
受取利息及び配当金	299	348
為替差益	13,328	—
その他	15,836	1,082
営業外収益合計	29,464	1,430
営業外費用		
支払利息	3,760	—
株式交付費	4,097	977
為替差損	—	32,185
その他	1,622	287
営業外費用合計	9,480	33,450
経常損失(△)	△338,799	△417,589
特別利益		
固定資産売却益	—	1,294
債務免除益	—	67,556
債務消滅益	—	274,084
新株予約権戻入益	265,500	66
役員退職慰労引当金戻入額	—	45,000
その他	1,622	—
特別利益合計	267,122	388,000
特別損失		
投資有価証券売却損	298,716	—
投資有価証券評価損	—	2,631
事務所移転費用	—	2,650
その他	—	211
特別損失合計	298,716	5,492
税金等調整前四半期純損失(△)	△370,393	△35,081
法人税、住民税及び事業税	1,576	13,147
法人税等調整額	28,143	873
法人税等合計	29,720	14,021
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△400,113	△49,103
少数株主損失(△)	△1,936	△5,961
四半期純損失(△)	△398,177	△43,141

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△400,113	△49,103
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,973	6,485
為替換算調整勘定	△9,938	47,389
その他の包括利益合計	△12,912	53,875
四半期包括利益	△413,026	4,771
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△411,090	10,733
少数株主に係る四半期包括利益	△1,936	△5,961

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年4月において、海外投資家から新株予約権の権利行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本金が41,250千円、資本準備金が41,250千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,311,861千円、資本準備金が521,861千円となっております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

当社グループは、投資事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。